



★第40回「少年の主張」国頭地区大会：9/3（水）★

少年の主張国頭地区大会に、本部町を代表して出場した小山結夢さんが最優秀賞で優勝し、地区代表として9/26（金）に行われる沖縄県大会に出場することとなりました。

「共に生きる」

本部中学校3年 小山結夢

「あんたがいてくれたから人生楽しいわ。」私の大好きな祖母の言葉です。私の家族は祖母・母・私・弟の四人家族です。父がいないこともあり、母が仕事で家を空けることも多かったので、私たち兄弟を祖母は大切に育ててくれました。よくプラネタリウムに連れていってくれたり、地域のイベントに参加したりと楽しいことが大好きな祖母でした。

ところが、私が小学校六年生の時に祖母は「認知症」と診断されました。「認知症」と聞くと、物忘れが激しくなるなど忘れっぽくなるというイメージがあると思います。祖母の場合「怒りっぽくなる」という症状が強く出てしまいました。とても社会的でめったに怒らない祖母。少し前まで笑いながら談笑していた祖母が、今では怒り暴言を吐きながら家族とけんかしている。それでも私は祖母が大好きでした。ですが、毎日同じ事を怒りながら言われるといつものような態度で祖母に接することは難しくなっていました。特に母は祖母の実の娘ということもあり、よく喧嘩をするようになりました。私自身も最初は家族の仲を取り戻すために、母と祖母の間に入り、喧嘩の仲裁をしていました。それが「家族」としての役目だと思っていました。それと同時に「家族だから」という理由で我慢し続けていました。ですが、我慢も長くは続かず、「もういい加減にして！」気がつくと、祖母に冷たい言葉を投げかけていました。そして祖母を避けるようになっていきました。そんなある日、二人きりになり久しぶりに祖母と言葉を交わしました。すると祖母は、「あんたがいてくれたから人生楽しいわ。」とあの頃の笑顔で言ってくれました。この瞬間は私の大好きな祖母が戻ってきてくれたような気がしました。「ばあば優しくできなくてごめん。」優しくなかった祖母の思い出と共に涙があふれて止まりませんでした。やはり家族の力が必要なのだと気づかされました。祖母が私に深く愛情を注いでくれたように、今度は私が祖母に恩返しをしようと決心しました。それは並大抵のことではないのかもしれませんが、それでもここから一歩踏み出そうと思うのです。

家族は生きていく中で一番身近な存在です。だからこそ一番の理解者であり、一番の敵対者になってしまうこともあります。今の日本は家族が抱える様々な問題があります。家庭内暴力やヤングケアラー、児童虐待。そして介護による心身の・精神的な負担が原因となり暴力を振るってしまう介護問題。これらの問題は最悪なケースになってしまうことも少なくはありません。

私たち学生はそんな問題とどう向き合えばいいのでしょうか。このような家庭の問題は周りの人たちに気づかれにくいと言われています。それに加え学生にとってこの課題は大きすぎる社会問題でもあります。だからこそ私は、悩みを打ち明ける勇気、誰かに相談することが大切だと思います。私自身、祖母のことで悩んでいるときに、思い切って友人に打ち明けました。そして、私の悩みを聞いた後も、そばで寄り添っていつも通り普通に接してくれる友の存在に何度も救われました。

私の将来の夢は看護師になることです。祖母との経験を通して人を支えることの大変さを実感しました。だからこそ困っている人の側で支えられるような人になりたいのです。これから先、いろいろな事に迷い、悩み、諦めそうになるときもあると思います。それでも自分を信じて前を向いて進んでいきたいです。

私たち家族の奮闘はまだまだ続きます。それでも「あんたがいてくれたから人生楽しいわ」という祖母の言葉を思い出し、家族で力を合わせて笑顔で祖母と共に生きていきます。



★各種大会等の結果★

◇第56回前沖縄ジュニア陸上競技大会

女子砲丸投げ：嘉手川ももこ（7位：記録8m28）

女子円盤投げ：嘉手川ももこ（5位：記録19m64）

男子1000m：前泊英尚（11位：記録2分49秒48）

眞部清斗（21位：記録2分53秒36）

◇吹奏楽ソロデュエットコンテスト

新人賞：大城光織、大城心美（1年）

金賞：武方さつき（2年）、謝花瑠（3年）

銀賞：梅北くらら、渡久地優亜、信清逢（2年）、喜納珠奈、並里結心（1年）

